

こころに吹く風は…＜カウンセリングルーム便り＞



長かった夏休みも終わり、浅間台幼稚園の園庭に子ども達が帰ってきました。「おかえりなさい。」9月1日の始業式の当日から、早速給食も始まりました。「あ、ぼくの大好きなハヤシライスだ。」「わたし、たくさん食べられるようになったんだよ。」などなどランチルームは、にぎやかで楽しい声にあふれていました。2学期は、運動会に始まり、たくさんの行事が待っています。大きく成長していく子ども達をわくわくどきどき感動しながら見守っていきたいですね。この幼児期に＜人間の良さ体験＞をたくさん積ませてあげたいものです。＜人間の良さ＞を日々実感して育った子は、人を信じる力がついているので、他人からの投げかけにも素直に応じることができ、いい人間関係の中で育つことが出来るのだそうです。

＜人間の良さ体験＞＜心のエネルギー＞＜社会生活力＞

人間が自信や自尊心をしっかり持って前向きに生きるためには、三層構造になった土台が必要です。土台の1段目は「人間の良さ」体験、2段目は心のエネルギー、そして3段目は社会生活力です。これらが着実に積み重なって初めて、人は「自分の能力を発揮しよう。」「世の中で活躍しよう。」「人と豊かにかかわりたい」という思いを抱くことが出来るのだと僕は思います。心の土台は主に幼児期から学童期にかけて作られていくものです。そして「ちゃんとできているかどうか」が思春期に見えてくるというのがセオリーでした。(中略)ところが、我が子のやる気のあるなし、すなわち心の土台がしっかりしているかどうかは問われ、見えてくる時期が低年齢化しているようなのです。(中略)「心の土台」の中でも最も土台にあたるのが、「人間の良さ」体験です。お母さんは温かくてやわらかい。抱っこされるとあたたかくてきもちいいなあ。お父さんは頼りになる。何かあったら必ず守ってくれるに決まっている。おじいちゃんとおばあちゃんは、わたしのことが本当にかわいいと思っているんだ。お友達と遊ぶのは楽しい。今日も明日も毎日遊びたいな。「人っていいな」と感じる事の積み重ねが＜人間の良さ体験＞です。管野純「やる気の土台の作り方」より

どうぞお気軽にご予約ください。一緒に子ども達の笑顔をつくっていきましょう。